

Title	臨床哲学 第6号 目次
Author(s)	
Citation	臨床哲学. 2005, 6
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/20896
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

目次

スイスの技術評価システムと若者の参加 ——人体研究法の制定に際して	森 芳周 3
哲学カフェの意義とその可能性 ——対話が生まれる場所としての哲学カフェ	鏡 史織 17
何が具体的か？ ——S Dにおける具体例の位置づけ	桑原 英之 31
対話を演ずる ——「子どものための哲学」二つの実践から	本間 直樹 41
《書評：『無痛文明論』》 「出口のない道」のその先 ——森岡正博『無痛文明論』によせて	三浦 隆宏 55
「人生を生き切ること」と「文明論」との交錯 ——『無痛文明論』が試みたもの	吉本 陵 63
『無痛文明論』への批判に答えて ——若干のコメント	森岡 正博 75
《特集：子どもの（ための）哲学》 学齢期の子どもたちのためのプラトン	ギャレス・マシューズ 79
探求の共同体（The Community of Inquiry） ——ティム・スプロッドによる概要	ティム・スプロッド 93

